



スローガン
「幸せ
あふれる
北小」
～私も幸せみんなも幸せ～

はぴねす

時津町立時津北小学校
学校だより R7第1号

令和7年4月11日
文責：校長 今井大輔

令和7年度スタート



3月末の休日に春の陽気に誘われて時津北小学校を訪れてみました。校庭では、満開の桜と色とりどりのチューリップが目飛び込んできました。ふと校庭へ目を移すと、ランドセルを背負ったお子さんとそのご家族らしき方が…。入学の記念写真を撮られていたのでしょうか。その微笑ましい光景に、20数年前、我が子の入学前に同じように写真撮影をした日のことを鮮やかに思い出し、温かい気持ちになりました。同時に、お子様たちの成長を心待ちにされている保護者の方々、そして地域の皆様の思いや願いを想像し、時津北小学校の校長としての責任を改めて強く感じ、身の引き締まる思いがいたしました。

令和7年度が始まりました。ご入学、ご進級誠にありがとうございます。この度、白浜弘康校長先生の後任として、時津北小学校の校長に着任いたしました今井大輔と申します。どうぞよろしく願っています。

本年度、子供たち一人ひとりが輝けるのはもちろんのこと、保護者の皆様、そして地域の皆様の笑顔あふれる時間が少しでも増えるよう、教職員一同心を一つにして教育活動に取り組んでまいりたいと思います。

幸せあふれる北小へ

始業式でこれから北小を共に創っていく子供たちへ私の思いを語りました。

みなさんは、どんな時に幸せだと感じますか？友達と遊んでいる時でしょうか？ゲームをしているとき？家族とどこかへお出かけした時？ご飯を食べている時でしょうか？

私は、家族と一緒においしいものを「おいしいね」といいながら食べている時や、お風呂にゆつくりと入っている時などに「ああ、いいな」という幸せな気持ちになります。

幸せというのは、「嬉しい」とか、「楽しい」という気持ちとよく似ていますよね。そう考えると一日の生活の中で、たくさんの幸せを味わっているのです。

幸せには、大きく3つの幸せがあります。

1つ目は、「してもらう幸せ」です。友達から優しくしてもらったり、先生からほめてもらったたりなど、誰かに何かをしてもらった時に感じる「温かい気持ち」です。2つ目は、「できるようになった幸せ」です。苦手だった縄跳びができるようになった時や難しい漢字を覚えた時など、目標を達成した時に感じる「達成感」と「喜び」です。

最後は、「してあげる幸せ」です。困っている友達を助けてあげたり、下級生の面倒をみてあげたりなど、誰かのために行動し、感謝された時に感じる「心の温かさ」です。北小が、この3つの幸せであふれた学校になるといいなと思って

います。そこで、幸せいっぱい学校になるように願いを込めてスローガンを決めました！

「懸垂幕」「幸せあふれる北小」です。これは、自分自身も幸せになる。みんなも幸せになる。という意味もあります。後半略。

子供たちをはじめ、本校の教職員や保護者・地域の皆様の幸福感が、少しでも向上できるように北小になるといいなと思っています。



お祝いのことは

入学式で6年生代表児童の今田陽香理さんと西村侑依人さんが、新一年生へお祝いの言葉を述べました。

みなさんは、「勉強は大丈夫かな。」と、心配もあることでしょう。でも、勉強することで新しいことを知ったり、たくさんすることができるようになったりします。新しいことを知ると嬉しいうし、たくさん自分の成長を感じることができそうです。勉強することを楽しんでください。また、北小には、いろいろな楽しいことがあります。

途中略、五つのしおりをしつかり心がけて、楽しい時津北小学校を、一緒につくっていきましょう。

6年生としての優しさと頑張ろうとする思いが伝わる言葉でした。1年生も保護者のみなさんも安心したことでしょう。

つぶやき

先日の報道によると、「世界幸福度ランキング」において、我が国は55位であった。「幸福度」とは、一人ひとりの心のもちようであり、同じ出来事であっても、幸福と感じる人もいれば、そうでない人もいます。つまり、それは個人の感じ方の問題と言える。

日本は、世界的に見ても豊かな国であり、便利な物や情報に溢れている。しかしながら、幸福度は決して高いとは言えない結果である。私たちは、日々の小さな喜びや達成感、楽しさに意識を向け、「幸せだな」と感じる心を改めて大切にすること、もしかしたら、この「幸福度」も向上するのかもしれない。

さて、皆さんは、AIさんの歌う「ハピネス」という曲をご存知だろうか。そのサビの部分は、次のような歌詞である。

♪君が笑えば この世界中に
もつと もつと 幸せが広がる
君が笑えば 全てが良くなる
この手で その手で

つながる ラララララ♪
昨年開業したスタジアムシティのアーリーナも「ハピネス」。皆さんに幸せを届けられるような学校だよりになるよう思いを込め、タイトルを「はぴねす」とした。この「校長つぶやき」は、日頃考えていることなどを気ままに綴るコラムとして、皆様に気軽に斜め読みしていただければ幸いです。